平成 29 年 4 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通巻 644 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ FURUSATO！4 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

新研修生紹介

ママ

①地域開発
②ゲーム
③ピザ
④好き
⑤バレーボール、ラグビー

フィジー

ネレグィ

①地域開発
②歌を聴く、乗馬
③豚肉、馬肉、果物
④あいさつの言葉
⑤ヨーグルトなどの乳製品作り

モンゴル

ス

①地域開発
②歌を聴くこと
③ブドウ
④おはようございます
⑤パン・ケーキ作り

ミャンマー

チョ

①地域開発
②読書
③サンドイッチ
④楽しい
⑤お菓子作り

ミャンマー

ロベルト

①地域開発
②バレーボール
③ケーキ
④元気です
⑤ダンス

フィリピン

アリン

①家政
②バドミントン
③果物
④大丈夫です
⑤料理

マレーシア

①研修コース　②趣味　③好きな食べ物　④好きな日本語　⑤特技

オイスカ研修生入所式

3月11日（土）、平成29年オイスカ研修生入所式を執り行いました。外部から香川県知事公室長中村様を始め、多くの方に来て頂き、ご祝辞を賜りました。研修生の代表挨拶では、ミャンマーのチョが現地で勉強した日本語を駆使して、堂々とスピーチをしました。今回は入国が遅れている者もおり、4名だけの入所式となりましたが、歓迎会でも来場者と研修生が交流する場も多くみられ、また来客者同士、普段なかなか顔を合わせることが少ない方たちとの懇親の場ともなりました。遅れていた研修生も今は研修に合流しています。毎年研修生が来ることでオイスカ四国研修センターも始まりとなります。充実した1年間2年間にするために研修に取り組むと共に、周りの方たちとの関係も例年以上に作り上げていきたいと思います。これからお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

（矢野）

歓迎会では早速研修生と来場者との交流も行われていました。

ＯＹＬ活動レポート

4月23日オイスカヤングリーダーズ（以下ＯＹＬ）で竹の子を掘る活動を行います。テーマは「竹の子フェス～学んで掘って食べてみよう祭り～」です。竹の子を掘ってみたい方、または竹の子掘り名人、親子でチャレンジして見たい方はぜひご参加下さい！竹林整備をしながら、たくさんの人に竹の子の美味しさを感じてもらいたいと思っています。

なぜ竹の子を掘る活動をするようになったかというと、今、日本では竹がどんどん広がり、畑や家のあたりまで伸びることが問題になっています。大きな原因は、生活の中で竹を使う習慣がなくなり、竹林を整備する人がいないことです。竹の子も手間がかかるからと、掘って食べる人は減っています。身近な問題を楽しく考えてみようとＯＹＬメンバーで話し合い、この活動を決めました。

わたしもまだ食べた事のない「竹の子の刺身」が堀りたての竹の子で食べられるかも！！海外の竹の子料理、そして外国人との交流もできます。楽しく掘って出会いましょう。

（ガディ）

竹の子フェス

～学んで掘ってたべてみよう～

日時：4 月 23 日（日）　10:00～13:00
集合場所：綾川町羽床地区
参加費：親子ペア 1,000 円、お一人での参加も大歓迎！！
（子ども 2 人目から 300 円、大人 1 人 1,000 円）
お申込み・お問合せ：オイスカ四国研修センター
TEL 087-876-3333

基礎研修修了式のお知らせ

今年3月に入所した研修生が2か月の基礎研修を修了します。2か月間日本語を集中的に学んできた彼らが、これから始まる本研修への意気込みをスピーチします。皆様ぜひお越しください。

日時：**4月29日(土)**
会場：オイスカ四国研修センター
お問合せ：ＴＥＬ０８７-８７６-３３３３

4 月のイベント予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
1・2 日	土・日	研修生ホームステイ	四国研修センター	
5 日	木	支部常任幹事会	四国支部	四国支部
23 日	日	竹の子フェス	OYL	
27 日	木	四国支部幹事会・講演会・懇親会（春のつどい）	四国支部	オークラホテル丸亀
29 日	土	基礎研修修了式	四国研修センター	四国研修センター
5 月				
3・4 日	水・木	（丸亀お城まつり）まるがめ城下町こだわり大物産展出店	中讃推進協議会	丸亀市民ひろば

「FURUSATO！」４月号　発行
公益財団法人オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALUE BOOKS
古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

インドネシア訪問 ～OB，OG研修生の今～

報告者：矢野

2月10日から1週間、インドネシアに行ってきました。家内の帰省に合わせたものでしたが、オイスカスカブミ研修センターとマドゥラに行ってきました。

スカブミ県は工場が多く、トラックが良く往来するため、穴の開いている悪い道がたくさんあり、すぐ渋滞になります。道路の隙間を走る車も多くみられます。ジャカルタからセンターまで5時間かかりました。そんなスカブミでも高速道路を作り始めるようです。

オイスカスカブミ研修センターでは丁度短期研修生が研修中で、60名程度の研修生がいました。最近では近くの田んぼで稲作も行っていますが、元々、蔬菜、養鶏、肥育牛、菊、食品加工、木工、溶接など様々な事業をやっています。以前四国で研修したOB、OGも残って研修生指導やプロジェクトに携わっています。センター外で勤めている者も会いに来てくれました。

中々、帰国した研修生とオイスカの研修について話す場がありませんが、時々でもこうやって足を運んで意見交換することで、お互いのオイスカ活動をどう見つめ直すか、またその中でお互いがどう関われるかも考えていきたいです。

農業も有機栽培や飼料トウモロコシ、菊栽培、畜産等手広く行っています。海外の現場でも研修生に多くの指導をしています。

来日時期は違いますが皆に集まってもらいました。センター内外で頑張っています。各々日本での研修も日本語で語ってもらいました。

マドゥラ編

マドゥラはインドネシア第2の都市スラバヤから車で5時間のところにある島で、近年ジャワ島からの橋が建設されてアクセスが簡単になりました。焼き鳥が有名で美味しいところです。ここでもオイスカのプロジェクトを行っていますが、今回は1995年の研修生サムシディンさん、1999年の研修生ルルさん夫妻に会ってきました。

サムシディンさんはスカブミ研修センターの所長を経て、現在はフリーランスの通訳をしています。会いに行く前週にも、JICAの仕事で日本から来た農家の視察に対応していたようです。ジャカルタでの仕事も多く、通うだけでも大変そうです。それでもオイスカのプロジェクトを手伝いながら今の仕事を続けています。

卒業した研修生それぞれが自分なりにプロジェクトを持ち、その中で折り合いをつけながらオイスカに関わっているのを見て、日本のオイスカももっとうまくやって行ければと思った今回の訪問でした。また行きます。

スカブミ研修センターにいる時は小さかった子供たちも大きくなっていました。四国に来てもらって紹介したい人たちです。

ボランティア体験記

長野県支部中信協議会の大槻です。この度ご縁あって3月10日から20日まで四国研修センターでボランティアをしました。私は国内研修センターでのボランティアは今回が初めてで、朝の旗上げ・ラジオ体操、朝昼夕の作業・国旗降下など、普段の会社生活では経験出来ない貴重な体験ができました。

まずボランティア2日目が新しい研修生の入所式で、初めて入所式に参加させて貰いましたが、香川県の推進協議会の皆さんの熱心さに驚かされました。朝のラジオ体操は会社でやる以上に、研修生と一緒になって真剣に取り組みました。その後のランニングも、やったことがないので不安でしたが、研修生の後ろからついていく事が出来たので、まだ々、大丈夫だと内心安心しました。午前・午後の作業は、調理・畑仕事を手伝いました。普段の食事は野菜を買って食べている為、豊富に使うことは有りませんが、研修センターの食事は3食、沢山の野菜が食べられとても有難かったです。また、それらの野菜はセンターで種をまくところから作られ、おいしく料理され、残飯も鶏の餌になったり、たい肥になったり全てが有効利用されています。今更ながら食べ物の大切さを実感し、命を貰って居ることに感謝しなくてはいけないんだと思いました。また、「朝・晩」行う鶏の世話、実際やってみると結構大変です。初めて鶏に餌をやった時、餌と間違えて私の手を突きました、早く餌が食べたかったんだろうなと、美味しい卵を産んでくれる鶏に感謝でいっぱいでした。

最後に、研修生が自分の子供の様に思えて離れがたい気持ちもありましたが、皆が研修センターで学んだ事を、自国に戻って後輩たちの指導をし、国の発展に繋がる活動をしていって貰えればと心から思います。一週間有難うございました。

休憩中、楽しく会話しながら日本語の勉強です

アジア女性の役割を考える

去る3月5日、綾川町男女共同参画会議主催による講演会が地元綾川町内で開催されました。同会議からの依頼を受けて、四国研修センターで食品加工を担当しているスタッフのガディと共に「マレーシア女性が見た母国と日本」と「アジアにおける女性の役割」を演題に講演を行いました。当日の参加者は30名ほどでしたが、多くの方から「普段は聞けないアジア女性の様子がよくわかった」や「外国人から見た日本について知ることが出来た」などの感想をいただきました。昨今、開発途上国において国の発展に女性の地位向上による社会参加は不可欠とされています。本講演会を通じて改めて四国研修センターで取り組んでいる女性を対象とした生活改善研修の必要性を再確認しました。

（萬代）

今後も様々な海外情報をお伝えしていきます。

綾川町綱引き大会

2月26日、綾川町民綱引き大会が開催され、私たち四国研修センターからも男女混合、一般男子の2チームが参加しました。去年は研修生がたくさんいましたが、今年は研修生の入国前で、人数がぎりぎりで男の人はすべての試合に出ました。当日は男女混合の試合から始まり、練習は前々日にしただけでしたが、私たちのチームは2試合続けて勝ちました。そのあとは負けてしまいましたが、とても強いいいチームでした。ほかの参加者からも「すごかったよ」「強いね～」という声を聞きました。一般男子は残念ながら3戦全敗でした。終わった後は手も足もとても痛かったです。でもセンターの結束力も上がって、町のたくさんの人と会うことができました。皆さん、また来年勝負しましょう。（リッチー）

せーーーの！！！